

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	橋りょう長寿命化修繕			事業番号	019-060
担当部署名	建設	局	道路	部	道路整備 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
		有	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	補修が完了した橋りょう数			
		有	現状値	—	目標値	80橋(2021~25年度の累計)	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.7	
		有	取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市公共施設等総合管理計画、堺市国土強靱化地域計画、堺市橋梁長寿命化修繕計画、堺市橋梁耐震事業計画、堺市道路維持管理計画					
3	事業開始年度	平成 20 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	道路法・河川法・港湾法・鉄道営業法					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	橋りょうを通行する人及び車並びに施設沿道の住民及びその財産				対象数	単位
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	本事業は、市民の安全・安心を確保するために、本市で管理する橋りょうについて、予防保全型の考えを取り入れた維持管理を計画的に進め、橋を良好な状態で維持するとともに、将来にわたるライフサイクルコストの縮減ならびに平準化を図ることを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	本市で管理する橋りょう749橋について、5年に1回の点検を定期的に行うことを基本として、早期に損傷を発見し損傷が進行する前に計画的に補修する「予防保全」の概念を取り入れた維持管理を進めることで、橋を良好な状態に保つ。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	年間事業 補修設計 16橋程度 補修工事 16橋程度 定期点検 150橋程度					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	業務並びに工事の受注者、南海電気鉄道株式会社					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	橋	実績		目標	目標	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
				目標値	—	16	32	80
				実績値	—	14		
				達成率	—	88%		
	当該指標を選定した理由	予防保全型の考えを取り入れた維持管理が計画的に進めていることを把握するため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画2025で定めた指標に対する目標値を設定（2021~25年度の累計で80橋）						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	橋	実績		目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		
				目標値	16	16	16	
				実績値	16	20		
				達成率	100%	125%		
	当該指標を選定した理由	橋梁長寿命化修繕計画に基づき実施している橋りょうの維持管理について、年度毎の進捗状況を把握するため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	ライフサイクルコストの縮減と平準化を図り策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき目標値を設定						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	橋りょう長寿命化修繕	事業番号	019-060
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	1,734,367	1,492,695	1,633,949	1,310,847	1,756,282	
13 財源内訳	国支出金	622,604	517,550	560,340	552,200	
	府支出金					
	市債	879,000	849,500	917,600	600,600	1,039,100
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	59,315				
一般財源	173,448	125,645	156,009	180,876	164,982	
14 人件費 (b)	48,600	49,200	49,200	49,200	49,200	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,782,967	1,541,895	1,683,149	1,360,047	1,805,482	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R3 決算
16 事業費内訳	橋りょう長寿命化修繕工事	R3 決算	887,009	111,864	計画更新業務	R3 決算	0	0
		R4 予算	1,387,900	96,730		R4 予算	20,000	11,200
	橋りょう補修詳細設計等業務	R3 決算	90,856	3,926	P C B 処分業務	R3 決算	0	0
		R4 予算	106,000	7,920		R4 予算	1,000	1,000
	他事業者への委託業務及び工事	R3 決算	124,900	7,300	有害物質特定調査業務	R3 決算	0	0
		R4 予算	52,807	3,607		R4 予算	500	500
	工事監理業務	R3 決算	56,472	5,922	PCB運搬委託業務	R3 決算	0	0
		R4 予算	127,475	9,825		R4 予算	600	600
	橋りょう定期点検業務	R3 決算	151,610	51,864		R3 決算		
		R4 予算	60,000	33,600		R4 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 工事発注数	橋	16	20
② 上記①にかかる年間経費	千円	753,743	975,589
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	47,108,938	48,779,450

備考 (算出についての説明等) 「15.年間経費」のうち工事にかかる経費のみを入力している。

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度に発注した20橋の補修工事のうち14橋の補修が完了し、次年度に工事の繰越しを行ったことから、令和3年度の決算額は前年と比べて減少した。事業の効率性については、令和3年度の実績は1橋当たり約49,000千円の経費を要し、前年に比べて増加した。これは、橋りょうごとに規模や損傷状況が異なるため、橋りょうによって補修に要する経費にばらつきが生じたものであり、事業の効率性に大きな影響はないと考えられる。橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋りょうの点検、診断、補修などを実施し、維持管理を行う本事業は、市民の日常生活、社会経済活動を支える道路交通ネットワークの形成に寄与すると同時に、ライフサイクルコストの縮減ならびに平準化を図ることができるため費用対効果は高いと考えられる。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 堺市基本計画2025に掲げたKPIの目標値 (補修が完了した橋梁数80橋 (2021~2025年度の累計)) を達成するには、橋りょう補修工事を年間16橋程度発注する必要があるが、令和3年度には20橋の補修工事を発注及び14橋の補修工事を完了することができ、KPI達成に向けて寄与した。なお、2025年における補修が完了した橋りょう数の目標値80橋については、達成できる見込みである。